

潮来市市制施行20周年

市長お祝いメッセージ



潮来市長
原 浩道

近年、私たちを取り巻く環境は、非常に厳しいものがあります。加速する超少子高齢化や世界的な気候変動などの環境問題、そして昨今の新型コロナウイルス感染症など、先を見通すことの困難な課題や問題が山積しております。

平成13年4月1日、潮来町と牛堀町の合併により潮来市は誕生いたしました。これまで市民の皆様方の深い郷土愛とたゆまぬ努力と研鑽が、今日の本市を支え、市制施行20周年という記念すべき日を迎えることが出来ました。大変喜ばしく、ご尽力いただきましたすべての皆様に深く感謝いたします。

本市は、三方を豊かな水に囲まれた水郷地域であり、東北から江戸に向かう際の水運要衝としての特色を活かし、水と緑とともに発展をしてみいりました。今後さらなる発展と成長を目指すには、本市の特色を生かしたまちづくりが求められております。

このような中ではありますが、市民一人一人が健康で、いきいきと豊かに生活できるようまちづくりを進めながら、次世代に引き継ぎ誇れる「水郷潮来」として、市民とともにつくり上げる「日本一の水路のまち」の推進や交通インフラ網の整備、高齢者や障がい者、子供たちが健やかに生活の出来る安心・安全な環境づくりを目指し、水と緑が共存する自然豊かなまちづくり「住みたいまち潮来」のために全力で取り組んでまいります。

今後とも、潮来市のさらなる発展のため、市民の皆様方のより一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。



市議会議長お祝いメッセージ



市議会議長
笠間 丈夫

平成13年、全国的な「平成の大合併」に先駆け合併特例法適用第1号として潮来市が誕生し、節目の20周年を迎え、関係各位、市民の皆様へ

議會を代表してお祝いを申し上げます。

当時の今泉和潮来町長・森内捷夫牛堀町長のリーダーシップのもと、平成8年より事務打ち合わせが始まり、勉強会、研修会、協議会の設置等、膨大な事務作業の取り組みは今では想像もできませんが、両町長はじめ職員の皆さん、関係者の皆さんの熱意が成し遂げた一大事業だったと思います。

明治から現在まで全国の自治体数

をみますと、「明治の大合併」により71,314町村が、明治22年に15,859市町村となり、「昭和の大合併」では、昭和36年に3,472市町村、「平成の大合併」では平成18年に1,821市町村となりました。その大きな目的は、地方分権や少子高齢化による人口減少対策など、基礎自治体の行財政基盤の強化にあります。

潮来市では、合併以来、東日本大震災や国体等色々な出来事がありました。現在は新型コロナウイルス感染症が経済に甚大な打撃を与え、教育や社会生活も大きく変えなければならぬ大変な時期ですが、東関東自動車道の工事が進むなど、潜在的な発展要因を秘めています。市制20周年をバネに、さらなる発展と市民の皆様のご健勝をご祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

20th Anniversary